

取扱説明書

直昇電動オーバードア

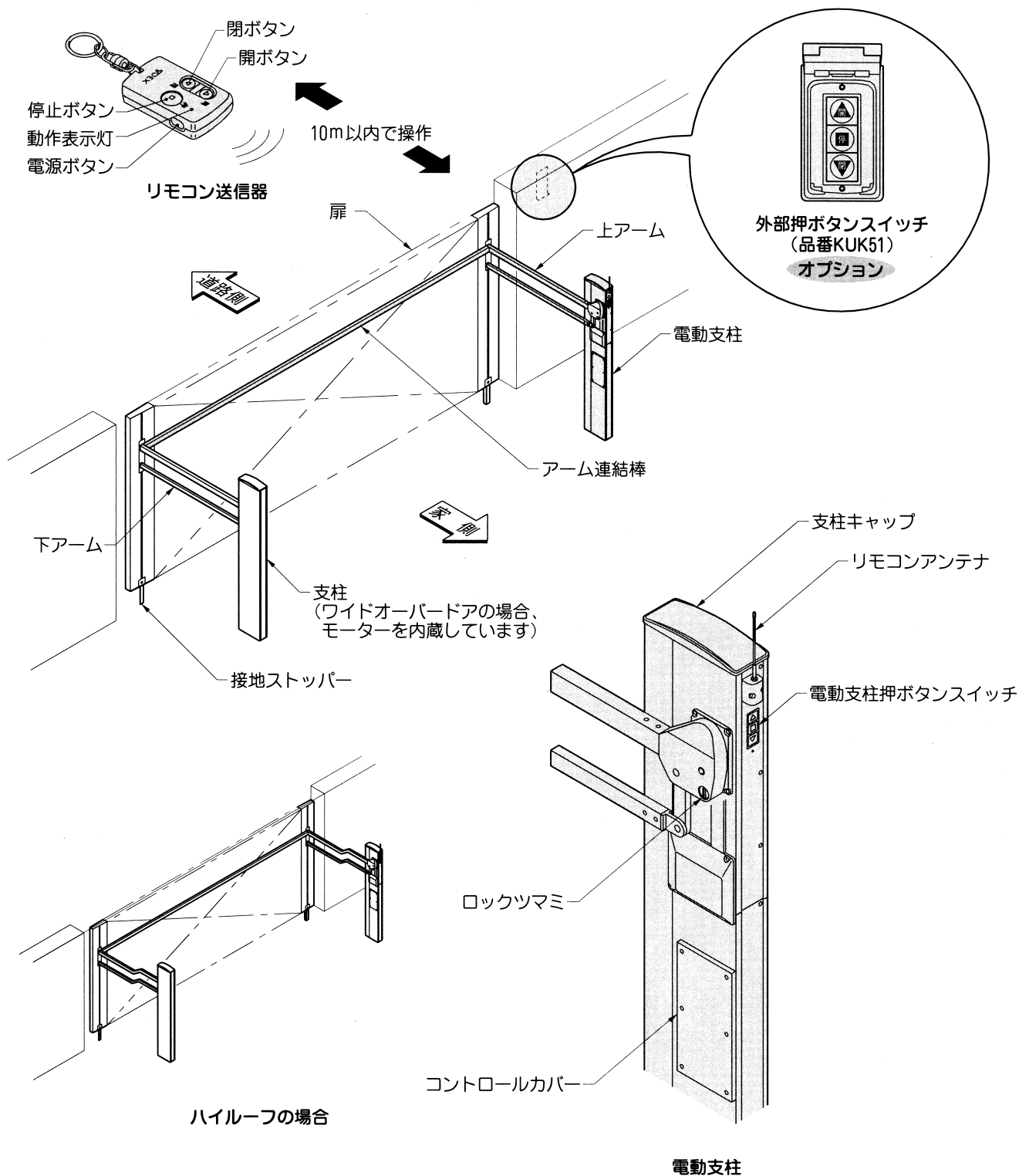
このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

もくじ

1. 各部の名称	1
2. 安全のために必ず守ってください	2
3. 電動支柱機能の設定方法	3
3-1 リモコン送信器の登録方法	3
3-2 リモコン送信器の追加登録方法	4
3-3 コントロールボックスの機能設定方法	5
4. 使用方法	6
4-1 リモコン送信器での操作方法	6
4-2 電動支柱押ボタンスイッチでの操作方法	7
4-3 外部押ボタンスイッチ(オプション)での操作方法	8
4-4 ロックツマミの使用法	9
4-5 電動で動かせないときの操作方法	9
4-6 ご注意とお願い	10
5. 調整および交換方法	11
5-1 リモコン電池の交換	11
5-2 調整について	11
6. お手入れについて	11
7. 修理を依頼する前に	12
8. 保証と修理	13
9. 別売り品	14
10. 仕様	14

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

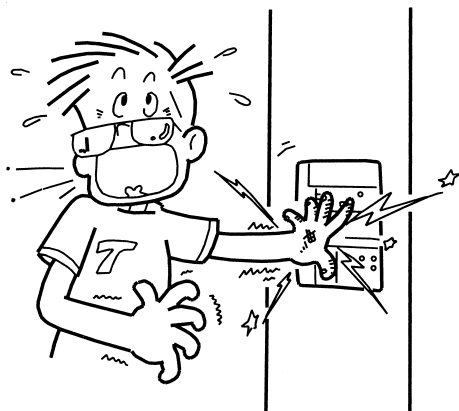
1 各部の名称



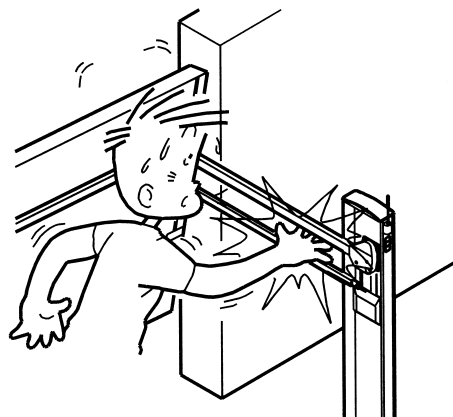
ご注意

- 門扉サイズ、種類により外観は多少異なります。

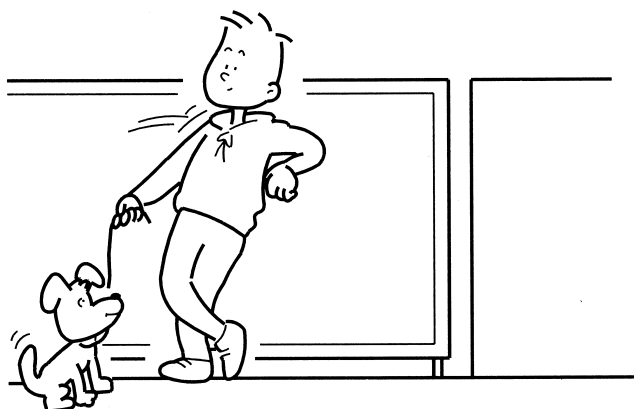
2 安全のために必ず守ってください



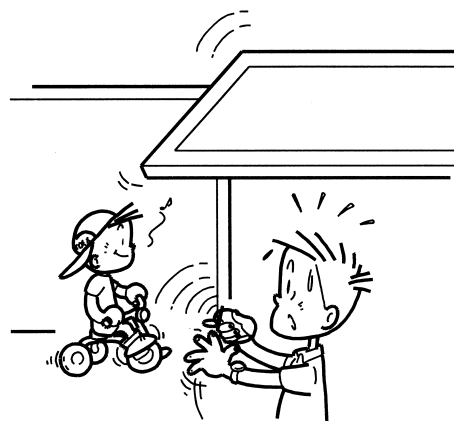
電動支柱内の配線にはふれないでください。
感電する危険があります。



扉が開閉しているとき、アームと支柱の間に手をはさまれないように注意してください。
ケガをする危険があります。



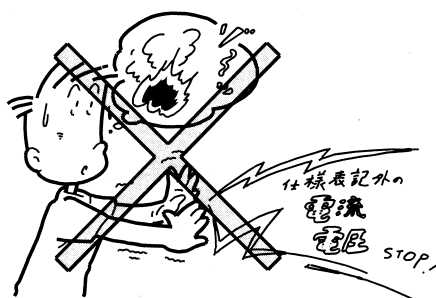
扉に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
ケガをする危険があります。



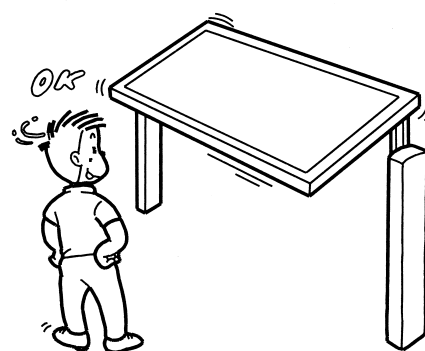
扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。特に小さいお子様には十分注意してください。思わぬケガをする場合があります。



扉はアームからはずさないでください。扉をはずすとアームが勢いよく跳ね上がり危険です。



仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。
火災、感電の危険があります。

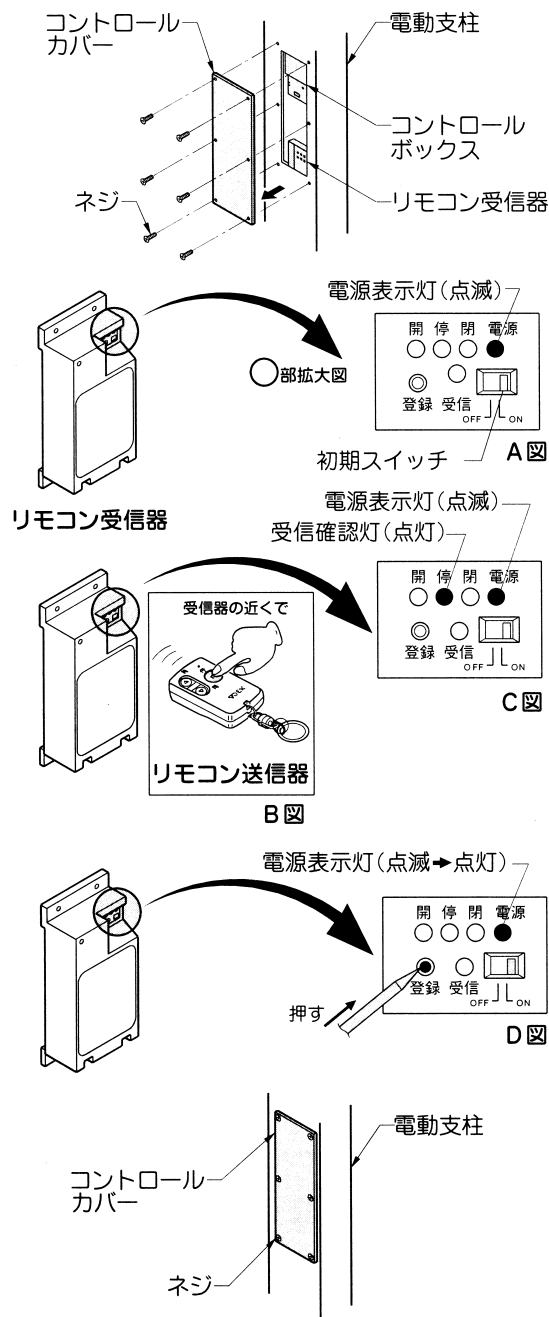


扉の開閉は操作が終わるまで、必ず目視確認してください。

3 電動支柱機能の設定方法

3-1 リモコン送信器の登録方法

リモコン送信器で操作する場合は、リモコン受信器にリモコン送信登録をしてください。



次の手順で登録してください。

①電動支柱のコントロールカバーをはずします。

- ネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずします。

②リモコン受信器の初期スイッチを「ON」にします。

- 電源表示灯が点滅します。(A図参照)
- 点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にし、もう一度「ON」側にします。

③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。(B図参照)

- リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯し、送信器登録が完了します。(C図参照)

④リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押して登録、または、電源表示が「点灯」に変わるまで待ちます。(D図参照)

- 電源表示が「点灯」になり受信器登録が完了します。

⑤電動支柱のコントロールカバーを取付けます。

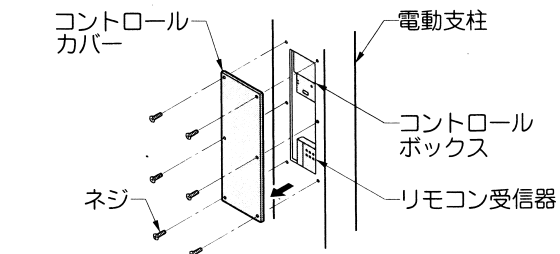
- ネジ6本で取付けます。締め忘れのないようにご注意ください。

ご注意

- 必ず電源表示灯が点滅している間(1分間)に登録してください。
- 初期スイッチをOFFにすると、リモコン送信器の登録をすべて抹消します。登録を抹消した場合、リモコン送信器での扉操作はできません。
- 登録スイッチは強く押しすぎないでください。スイッチの故障の原因になります。

3-2 リモコン送信器の追加登録方法

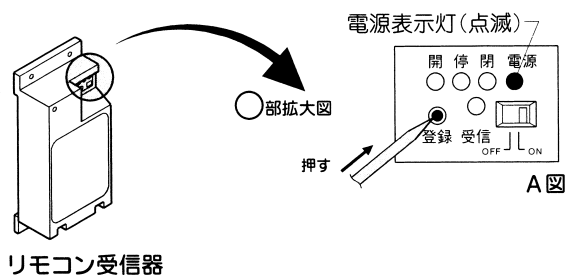
別売り品で複数のリモコン送信器(KYZ73)をお求め頂いたお客様は「追加登録」をしてください。
リモコン受信器1台につきリモコン送信器16台まで登録可能です。



次の手順で追加登録してください。

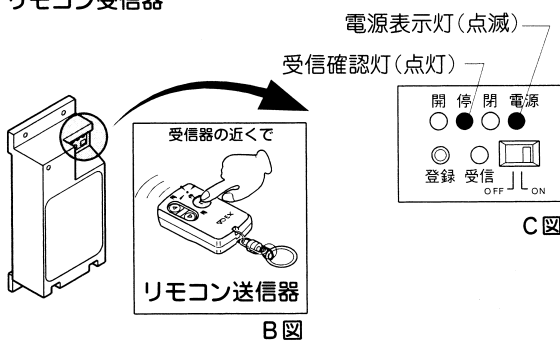
①電動支柱のコントロールカバーをはずします。

- ネジ6本をはずし、コントロールカバーの下側を手前に引っ張るようにしてはずします。



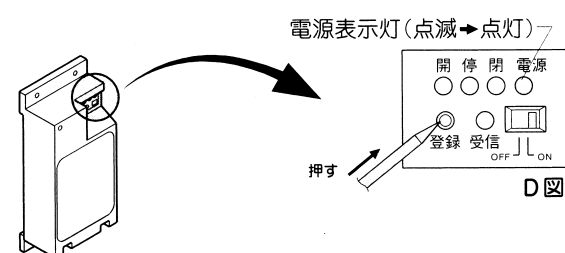
②リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押します。(A図参照)

- リモコン送信器は、最大16個が「登録可能」です。



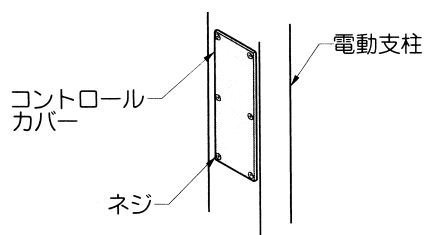
③リモコン受信器の近くで、登録するリモコン送信器の「停止」ボタンを押します。(B図参照)

- リモコン受信器の受信確認灯「停」が点灯し、送信器登録が完了します。(C図参照)



④リモコン送信器の登録完了後、リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押して登録、または、電源表示が「点灯」に変わるまで待ちます。(D図参照)

- 電源表示が「点灯」になり受信器登録が完了します。



⑤電動支柱のコントロールカバーを取付けます。

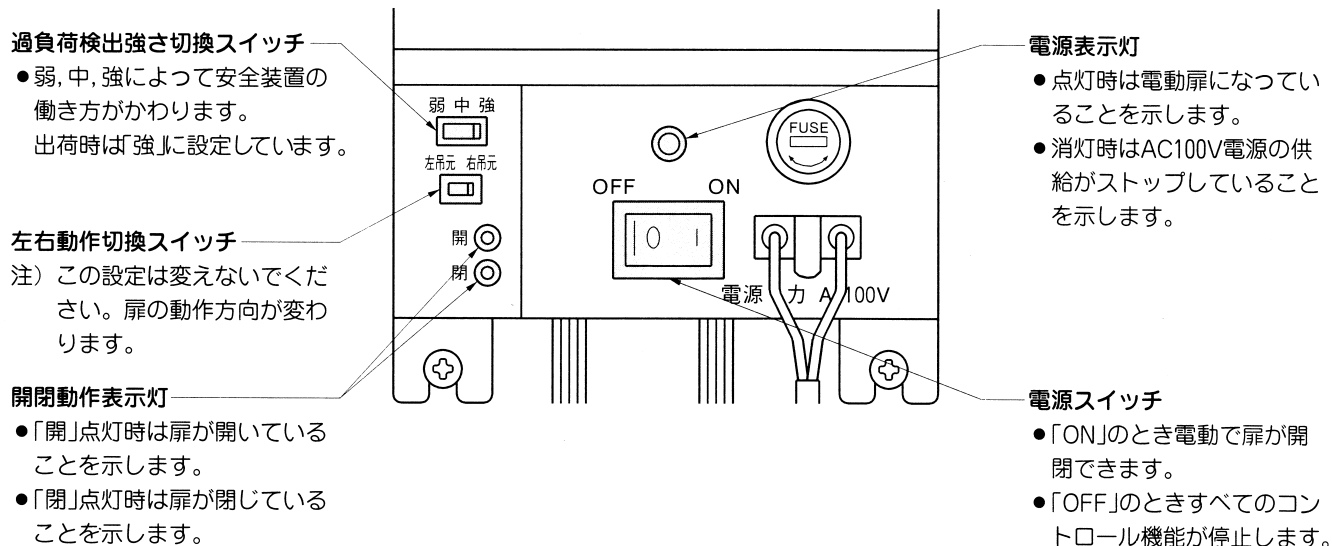
- ネジ6本で取付けます。締め忘れのないようにご注意ください。

ご注意

- 必ず電源表示灯が点滅している間(1分間)に登録してください。
- 初期スイッチをOFFにすると、リモコン送信器の登録をすべて抹消します。登録を抹消した場合、リモコン送信器で扉操作はできません。
- 登録スイッチは強く押しすぎないでください。スイッチの故障の原因になります。

3-3 コントロールボックスの機能設定方法

コントロールボックス内の各スイッチ設定時の機能設定と表示をご確認ください。



コントロールボックス内スイッチの設定時の表示と動作

設定機能	設定	表示	動作
電源スイッチ	ON	電源表示灯 点灯	扉が電動で開閉できます。
	OFF	電源表示灯 消灯	扉は電動で動作できません。
過負荷検出強さ 切換スイッチ	弱	—	電動オーバードアでは、このポジションは使用できません。
	中	—	電動オーバードアでは、このポジションは使用できません。
	強	—	扉が開閉動作時に障害物などに衝突したとき、約1秒間後退し、停止します。

ご注意

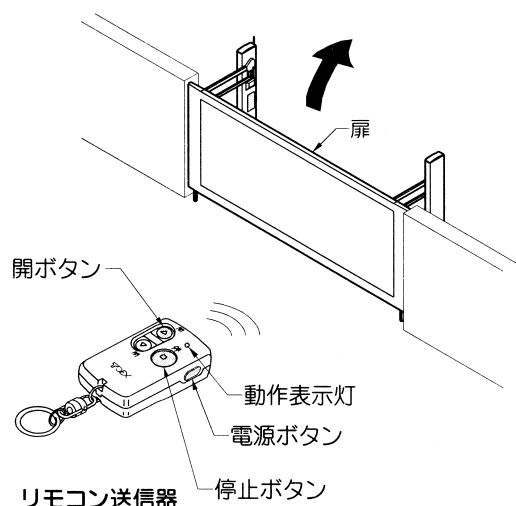
- 電動支柱内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。
- 過負荷検出強さ切換スイッチは「弱」「中」にしないでください。動作ができなくなります。

4 使用方法

4-1 リモコン送信器での操作方法

リモコン送信器のボタンで扉を操作してください。

(1) 扉を開けるとき



①電源ボタンを押します。

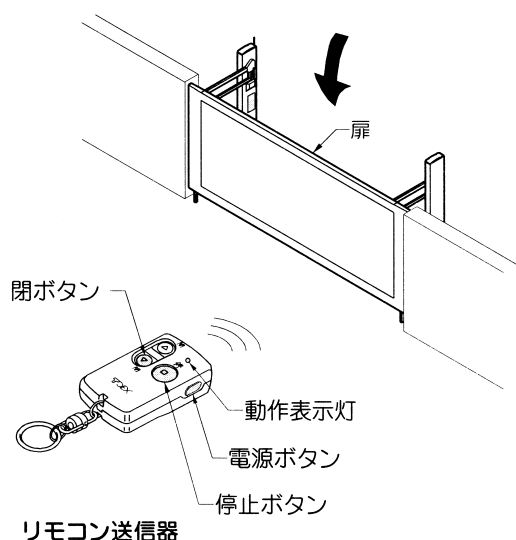
- 動作表示灯が約15秒間点滅します。「点滅」のときは、「送信」が可能です。

②動作表示灯点滅中に「開」ボタンを押します。

動作表示灯が「点灯」し扉は自動的に開きます。

- 動作途中で停止するときは、「停止」ボタンを押します。

(2) 扉を閉めるとき



①電源ボタンを押します。

- 動作表示灯が約15秒間点滅します。「点滅」のときは、「送信」が可能です。

②動作表示が点滅中に「閉」ボタンを押します。

動作表示灯が「点灯」し扉は自動的に閉じます。

- 動作途中で停止するときは、「停止」ボタンを押します。

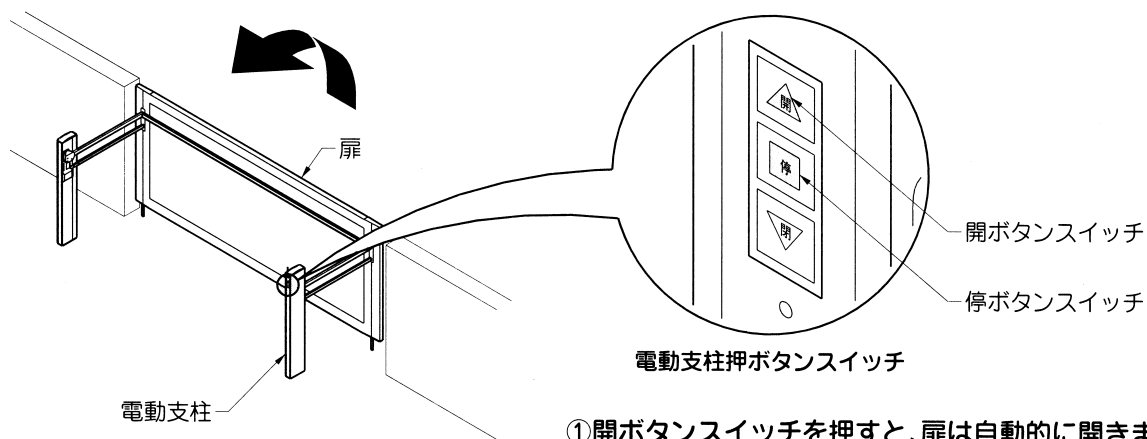
ご注意

- 電源ボタンを押して15秒を経過すると、点滅は自動的に消えて「開・閉」送信ができなくなります。
- リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作してください。
- 開閉動作中、その逆方向へ操作する場合、必ず「停止」ボタンを押してから、次のボタンを操作してください。
- 停止ボタンは、電源ボタンを押していない場合にも「送信」が可能です。

4-2 電動支柱押ボタンスイッチでの操作方法

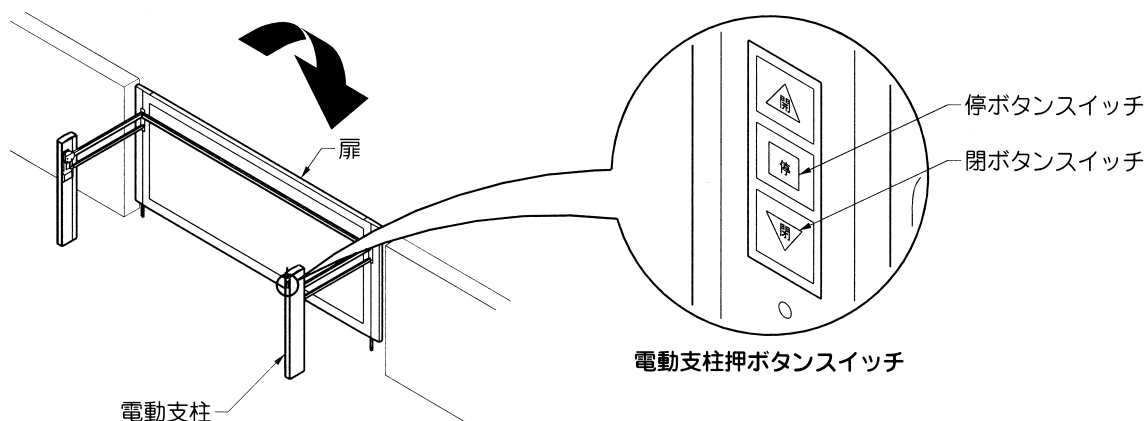
電動支柱に付いている押ボタンスイッチを押して扉を操作してください。

(1) 扉を開けるとき



- ①開ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。
- 途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。

(2) 扉を閉めるとき



- ①閉ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉まります。
- 途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。

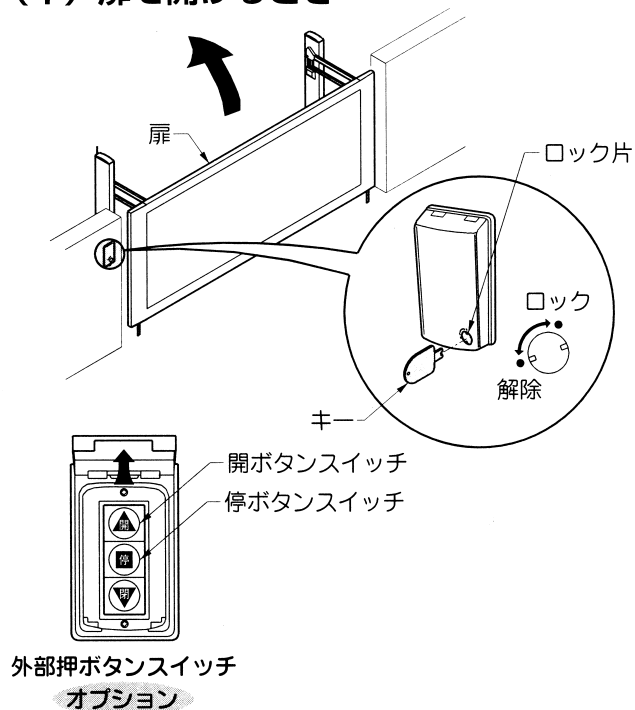
ご注意

- 開／閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度停ボタンスイッチを押してから、次の押ボタンスイッチを押してください。

4-3 外部押ボタンスイッチ(オプション)での操作方法

別売り品で外部押ボタンスイッチをお求め頂いたお客様は、リモコン送信器とは別に扉を操作できます。

(1) 扉を開けるとき

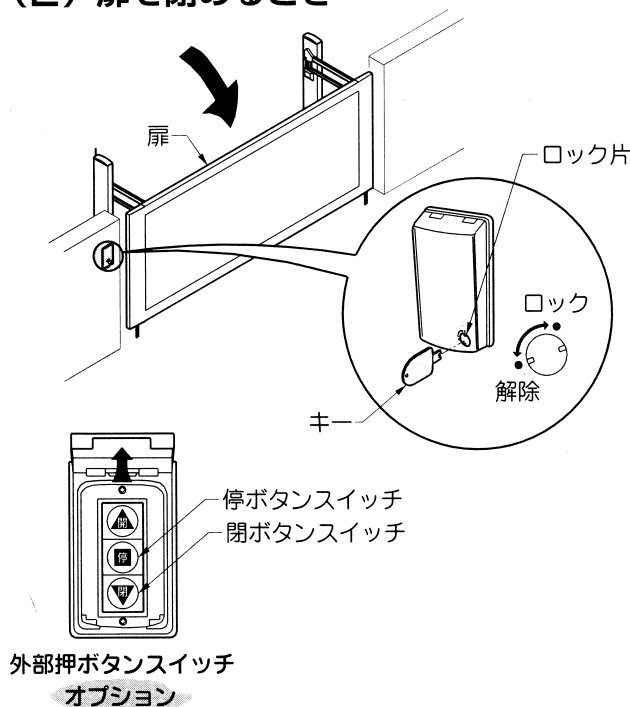


① 付属のキーをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。

② 開ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に開きます。
• 途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。

③ カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差し込み、右にまわしてカバーをロックします。

(2) 扉を閉めるとき



① 付属のキーをロック片に差し込み、左にまわしてカバーを開けます。

② 閉ボタンスイッチを押すと、扉は自動的に閉まります。
• 途中で停止させるときは、停ボタンスイッチを押します。

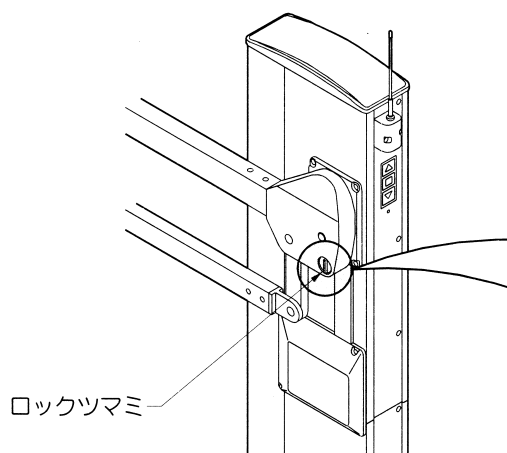
③ カバーを閉じ、付属のキーをロック片に差し込み、右にまわしてカバーをロックします。

ご注意

- 開／閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度停ボタンスイッチを押してから、次の押ボタンスイッチを押してください。

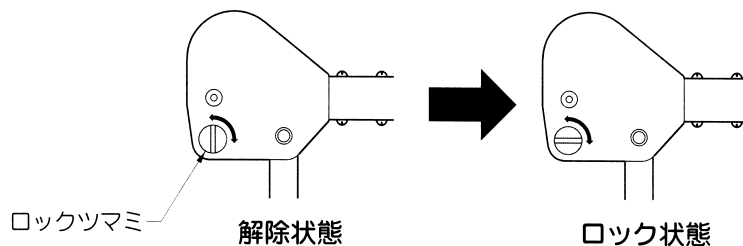
4-4 ロックツマミの使用法

ロックツマミにより扉を固定(ロック)することができます。



<ロックする場合>

ロックツマミを押し込んで、ツマミが水平な状態になるまでまわしてください。



<解除する場合>

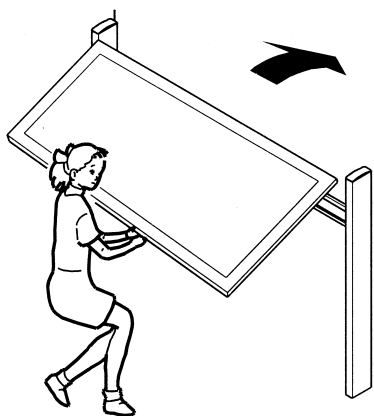
ロックツマミを押し込んで、ツマミが垂直の状態になるまでまわしてください。

ご注意

- 本品には自動施錠機能はありません。夜間および強風時等は安全のため、ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。
- 扉の開閉時には必ずロックツマミを解除の状態にしてください。ロック状態のまま開きますと、駆動部が破損する恐れがあります。

4-5 電動で動かせないときの操作方法

非常時(停電・故障)など電動で動かせないときは、手動で動かすことができます。



①扉の中心部分を手で持ち開閉します。

- 扉の開閉時に約15～20kgの力が必要となります。

ご注意

- 手動での開閉は非常時(停電・故障)のときに限り行なってください。通常は電動操作でご使用ください。
- 電動で扉を開ける場合、必ずロック解除してください。ロック状態のまま扉を開けると、駆動部が破損する恐れがあります。

4-6 ご注意とお願い

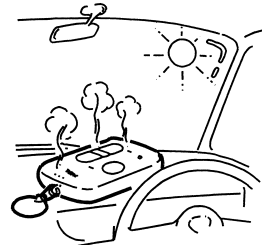
(1) リモコン送信器について



- リモコン送信器を床に落としたり、衝撃を与えないでください。



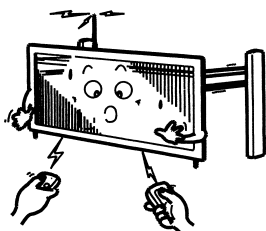
- リモコン送信器は生活防水構造になっていますが、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。



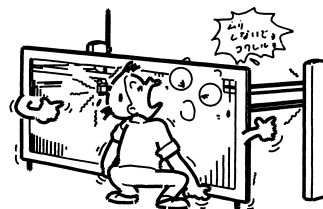
- リモコン送信器を温度が50℃以上になるような、夏季炎天下の車内などには放置しないでください。

- リモコン送信器の実用到達距離は約10mですが、周囲の状況により到達距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の電池が消耗したとき、作動しないことがあります。
- リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押しでない(一瞬ふれた程度の)ときは、作動しないことがあります。

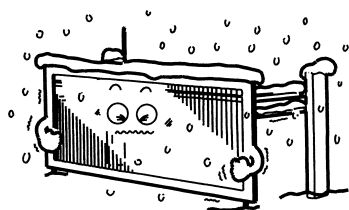
(2) 扉本体について



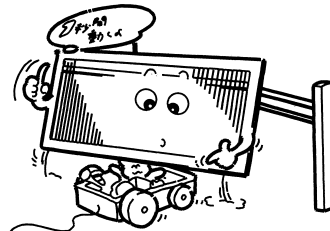
- 2台以上のリモコン送信器から同時に送信したとき、および各種無線器コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。



- ロックツマミがロック状態のまま、無理に扉を開けないでください。駆動部などを破損する恐れがあります。



- 降雪時は扉とアームに積った雪を取り除いてから動かしてください。重みで上がらないこともあります。また、故障の原因になります。



- 扉が障害物にあたったときには安全装置が働き、逆方向へ約1秒間動き、停止します。障害物を取除き、閉または開ボタンスイッチを押して扉を動かしてください。

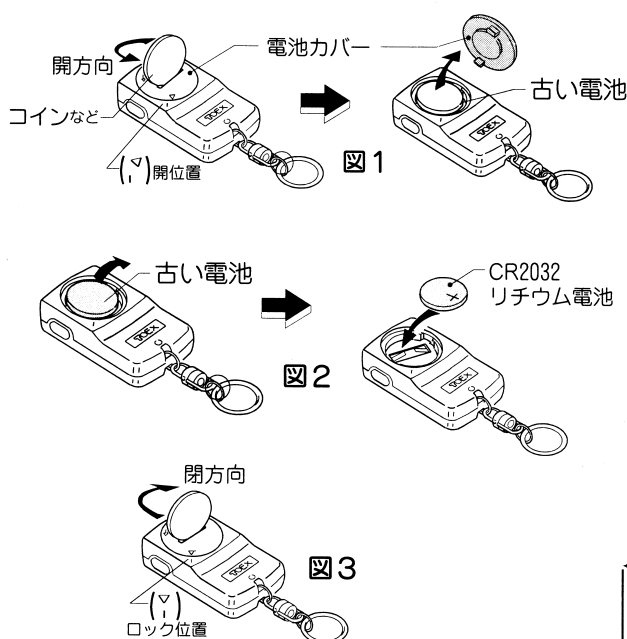
- 電動支柱の浸水時などは、電源を切り最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご連絡ください。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 製品に関する移設・増設などは、施工店・電気工事店(電気工事有資格者)または最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

5 調整および交換方法

5-1 リモコン電池の交換

リモコンの到達距離が短くなったり、動作表示灯が点灯しなくなるなどの兆候があった場合は、速やかに新しい「リチウム電池CR2032」とお取り替えください。

電池寿命は、1日10回(1秒/回)使用にて約1年です。



次の手順で電池をセットしてください。

- ①送信器裏側、カバーの溝にコイン等を差し込み、矢印開方向(反時計方向)に回して、電池カバーをはずします。(図1参照)
- ②古い電池を取り出します。(図2参照)
- ③新しい電池は「+マーク」が見える向き(上側)にはめ込みます。(図2参照)
- ④電池カバーを外した位置で差し込み、コイン等で矢印閉方向(時計方向)に回し閉めます。(図3参照)
 - ・「+マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意してください。(図2「位置マーク」参照)

ご注意

- 電池の極性を確認の上セットしてください。位置マークで確認してください。

5-2 調整について

各部の調整を希望される場合には、施工店、または最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

6 お手入れについて

(1) 年に2～3回水洗いをし拭きとってください

- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らぬようよく水洗いをし拭きとってください。
- 電動支柱には電装部品が内蔵されていますので、直接水道ホースなどで水洗いをしないでください。ぞうきんなどで汚れを軽く拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたりすることがあります。

(2) キズは補修してください

- あやまってキズをつけた場合、当社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐蝕の原因となります。

7 修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときには修理をご依頼ください。

このようなとき	点 検	処 置
電動で作動しない	家側のブレーカーがOFFになっていませんか。	ブレーカーをONにする
	電動支柱の電源スイッチがOFFになっていませんか。	電源スイッチをONにする (5ページ参照)
	扉軌跡上に障害物などありませんか。	障害物を取り除く
	ロックツマミがロック状態になっていませんか。	ロックツマミを解除する。 (9ページ参照)
扉が開閉時、途中で停止し後退する	扉軌跡上および接地ストッパーのまわりに障害物などありませんか。	障害物を取り除く
	コントロールボックス内過負荷検出強さ切換えスイッチが「弱」「中」になっていませんか。	過負荷検出強さ切換えスイッチを「強」にする (5ページ参照)
リモコン送信器の開閉押ボタンスイッチを押しても動かない	リモコン送信器の操作方法がまちがっていませんか。	電源ボタンを押してから15秒以内に開閉ボタンを押す。(6ページ参照)
	リモコン送信器の電池が消耗していませんか。(送信表示灯が点灯していますか。)	新しい電池に交換 (11ページ参照)
	リモコン送信器の押ボタンスイッチを0.3秒以上押していますか。	必ず0.3秒以上押す
	2台以上のリモコン送信器から同時に発信していませんか。	同時に発信しない
	各種無線器、コードレス電話などを同時使用していませんか。	同時使用は避ける
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか。	10m以内で操作
	リモコン送信器が受信器に登録されていますか。	リモコン送信器を登録 (3ページ参照)

8 保証と修理

(1) 保証書について

- この電動オーバードアには保証書がついています。
- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項の記入を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

	施工日	1 年	2 年
電 装 部 品	無 料	有 料	
電装部品以外	無	料	有 料

(3) 修理について

製品に異常が生じたときは、お取付けの施工店または、お近くの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

修理を依頼されるとき下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく
製 品 名	製品にシール表示してある製品名
施 工 日	年 月 日
ご 氏 名	
ご 住 所	
電 話 番 号	
道 順	付近の目印などお知らせください

9 別売り品

下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- リモコン送信器(KYZ73)
送信器を増やしたいときや、あやまって破損・損失したときにお申込みください。
- ロング接地ストッパー
扉下端と地面の間隔が広いときにご利用ください。
- 補修塗料
あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
- 外部押ボタンスイッチセット(KUK51)
扉を道路側または見通せる離れた場所から操作したいときにご利用ください。
- アンテナ延長ケーブルセット(KYZ81)
アンテナを見通しの良い場所に別設するときにご利用ください。

10 仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力(動作時)	オーバードア(W27・30型)約60W ワイドオーバードア約80W
モーター定格出力	オーバードア(W27・30型)15W(1モーター) ワイド10W(2モーター)
周囲温度	－10℃～50℃
開 閉 時 間	11.5秒(50Hz) 10秒(60Hz)
リモコン到達距離	見通し距離 約10m(使用環境で短くなる場合があります。)
操 作 方 法	電動柱押ボタンスイッチ, リモコン送信器

直昇電動オーバードア 保証書

製造No.

保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2 ヶ 年
	但し電装部品	1 ヶ 年
お引渡し日	平成 年 月 日	
お客様	ご住所	
	お名前	
	電 話	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無償修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名が不明の場合は、保証し兼ねますので施工店に必要事項を記入していただいて下さい。又本書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

施 工 店	住所・店名 電話 ()
-------------	-------------------------

東洋エクステリア株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL(03)3341-5051(代)

1. 保証者

東洋エクステリア株式会社(以下当社という)が当該商品の所有者に対して、以下の記載のとおり責任を負う。

2. 保証内容及び保証期間

1) 保証の内容

保証期間内に通常の取扱いによって生じた品質不良、性能及び機能の低下について、当社が認定したものは、当社が無償で修理を行なう。

2) 保証期間

当該商品の取付け完了後(お引渡し日後)2年間(電装部品については1年間)。

3. 免責事項

保証期間内でも原因が次のような場合は、有償修理となります。

- (イ) 環境が特に悪い地域の場所に取付けられたもの。(例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス等の反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障)。
- (ロ) 当社の表示した取扱い方法(取扱説明書、本体添付ラベルの注意書)から逸脱したもの(例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したアルミ部材等の汚れのお手入れ)。

- (ハ) 使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。
- (ニ) 施工完了後の移動、移設による損傷または故障。
- (ホ) 不可抗力(天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等)により発生したもの。
- (ト) 本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。
- (ヘ) エクステリア構成材であっても当社供給範囲外のもの(波板等)。
- (チ) 土間工事等の外構工事及び電気工事に起因するもの。
- (リ) 施工完了後、引渡しまでの管理等の不備によるもの。
- (ヌ) 保証書に取付け年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (ル) 電池・電球等消耗品の損傷や故障。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましても、お買い上げの施工店又は当社各支店営業所にお問い合わせ下さい。

東洋エクステリア株式会社

東北支店 022-246-7510(代)
関東支店 03-3290-8510(代)
中京支店 052-807-5501(代)
関西支店 06-6330-3631(代)
中国支店 086-478-5533(代)
九州支店 0943-32-3100(代)

札幌営業所 011-640-8000(代)
静岡営業所 054-238-3301(代)
長野営業所 026-263-0861(代)
広島営業所 082-241-4125(代)
南九州営業所 099-256-8955(代)
千葉出張所 0471-63-7888(代)

取説コード

UD028

97-10A
200004D